

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区米町2-3-1

団体名 株式会社 九電送配サービス 小倉サービスセン

代表者 小倉サービスセンター長 堂領 勇一

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	かぶしきがいしゃ きゅうでんそうはいさーびす こくらさーびすせんたー
団体名	株式会社 九電送配サービス 小倉サービスセンター
(ふりがな)	こくらさーびすせんたーちよう どうりょう ゆういち
代表者氏名	小倉サービスセンター長 堂領 勇一
所在地	市内事業所 北九州市小倉北区米町2-3-1
	主たる事業所 福岡市中央区渡辺通三丁目10番26号
事業概要	九州電力送配電株式会社所有の配電設備に関するお客さまサービスや設備保全、電気使用申込受付の受託など
企業・NPO法人等の別	企業
業種（企業のみ）	電気・ガス・熱供給・水道業
従業員数（企業のみ）	51～100人
ホームページの有無	あり
ホームページURL	https://www.kyuden-ss.co.jp/

連絡先







担当部署	小倉サービスセンター 技術サービス1グループ
担当者	岸本 勝志
電話番号	0935338577
メールアドレス	katsushi_kishimoto@qss.kyuden.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込書（電子申請可）

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

企業名 株式会社九電送配サービス 小倉サービスセンター

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・事業所営業車に低公害車 (EV) を導入 ・日々の節電など組織全体での取組み ・使用するガソリンなどの燃料や、電力・ガスの使用量を検針票等で把握・記録 ・クールビズ・ウォームビズの推進 ・ノーマイカーデー・エコドライブの実施 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
				7.2	9.4	13.3		ターゲット	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・紙、段ボール、空き缶・空き瓶・ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
				9.4	12.3、12.5	13.3		ターゲット	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者就労施設等で生産された物品を調達 ・省エネ・省資源を考慮したグリーン購入を実施 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	社会(1)⑤
				10.2	12.2	13.3		ターゲット	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> ・社内ベンチャー制度の推進 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	経済(2)②
				8.2	9.5	12.5		ターゲット	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ・CO2削減に貢献する製品・サービスの開発 ・再生可能エネルギーによる発電および供給 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
				7.2	9.4	13.3		ターゲット	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> ・有給休暇取得率の目標値を設定 ・従業員に対して経営方針、就業規則を周知徹底 ・適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ届出 ・タイムカードや業務用PCの管理等により労働時間を正確に把握 ・在宅勤務、フレックスタイム、ノーマルワークなどの柔軟な勤務体制を実施 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	社会(3)①
				3.4	5.5	8.8		ターゲット	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍企業として、厚生労働省のえるぼし認定を取得 ・障がい者を積極採用し、その特性や経験が活かせる職場環境を整備 ・パート、アルバイト、派遣など雇用の形態を問わず、性別、年齢、障害、疾病、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施 ・従業員の人事評価を平等にするため、成果の達成度を重要視した評価制度を採用 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	社会(2)①
				5.5	8.5、8.8	10.2		ターゲット	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・パワハラ防止法など、ハラスメントに関する法令を遵守 ・ハラスメント防止規定を整備し、社内周知 ・ハラスメントに対する相談窓口を設置 ・ハラスメントについての社内研修を実施 ・社内だけではなく、取引先との間でのハラスメントを防止するための体制整備 ・ハラスメント問題について、弁護士や社労士に相談できる体制を構築 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会(2)①
				5.1、5.4	8.8			ターゲット	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施 ・従業員に対して、定期的に健康診断を実施 ・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施 ・経済産業省の健康経営優良法人の認定を取得 ・社内において禁煙・分煙を実施 ・従業員に対して不適切な飲酒がもたらす問題に関する研修の実施 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	社会(3)①
				3.4	8.8			ターゲット	具体的な取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・自社にとってあるべき人材像を明確に定義し、人材育成のためのOJTとOFF-JT ・高校生や大学生などと事業において協働し、事業に携わる機会を提供 ・異業種交流会への派遣を行っている 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(2)①
				4.4	8.2、8.6	17.17		ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に周知 ・贈収賄防止と公正な取引に関する方針を策定し、従業員および社外に周知 ・個人情報保護ガイドラインを策定し、従業員および社外に周知 ・情報セキュリティ対策を推進 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	社会(2)③
				16.1、16.3、16.5				ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・従業員向けにSDGsに関する社内啓発活動を実施 ・SDGsの考え方を取り入れた経営ビジョンを作成 ・SDG宣言やSDGsへの取組に関する情報を開示 ・BCP(事業継続計画)を策定 ・気象災害(台風や豪雨など)による事業への被害を防止・軽減するために、ハザードマップを確認して、避難計画や事前防災対策を推進 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	経済(4)①
				11.b	12.6	13.1		ターゲット	具体的な取組

※CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和 5年 3月 3日

団体名 株式会社 九電送配サービス
小倉サービスセンター

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

私たちは、九電グループの一員として、「ずっと先まで、明るくしたい。」というブランドメッセージのもと、社会の持続的な発展に貢献していくため、九州電力株式会社北九州支店と協働で、企業活動が社会に与える影響に配慮するだけでなく、地域の方々の声をお聴きし、地域・社会の課題解決に取り組んでいます。

環境にやさしいエネルギーサービスで暮らし・経済を支えることはもとより、北九州市の皆さまと一緒に、災害対応力の向上、環境意識の啓発・清掃活動、地域社会を担う次世代層の育成、地域資源の活用・魅力PRなど、「持続可能な社会」の実現に向かって、様々な活動を進めています。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs 未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	CO ₂ 排出量の抑制 ・再エネの導入促進と蓄電池・EV・IoTを活用した北九州市エネルギーマネジメントシステム構築への貢献 ・空調・給湯・厨房設備の電化推進や、エネルギーの利用効率向上に向けた省エネ提案、EVの普及促進に向けたサービス提供	指標 (KPI)	CO ₂ 排出削減量 九州エリア2013年度 基準	指標
社会			目標値		
環境			(その他の場合) ()年	2020年：1,930万t ↓ 2030年：2,600万t (全社)	具体的な取組 経済 (1) オ
経済		環境・エネルギー教育の実施 ・次世代を中心に、様々な「学び」と「体験」の場を提供する環境・エネルギー教育「Qでんみらいスクール」の実施	指標 (KPI)	環境教育等を通じて環境・エネルギーに関する意識が高まった受講者の割合	指標
社会	○		目標値		
環境			(その他の場合) ()年	2020年：96% ↓ 2023年：90%以上を継続	具体的な取組 社会 (4) ア
経済		環境保全活動の実施 ・NPOや地域の方々と協力して、環境保全を中心に地域の課題解決に取り組む「こらぼらQでん」の実施	指標 (KPI)	地域のみなさまと行う活動のうち環境活動の割合	指標
社会			目標値		
環境	○		(その他の場合) ()年	2020年：92% ↓ 2023年：92%以上	具体的な取組 環境 (2) イ

記載について

- ・ 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

株式会社 九電送配サービス
小倉サービスセンター

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
8 地域コミュニティ活動への参加	九州電力株式会社北九州支店と協働で、市・NPO・地域の方々と一緒に環境保全活動に取り組んでいる。子どもたちが楽しく体験しながら森の大切さを学ぶイベント「プレイフォレスト」の実施や、地域のボランティア活動「馬島海岸清掃」「森鷗外旧居清掃」「若松響灘緑の回廊植樹・除草」「若松海岸清掃」等に参加中。
12 いのちをつなぐネットワーク事業	当社社員、委託員、関係会社等がお客さま宅を訪問した際に「お客さまの体調異変等」に気づいた場合は、救急車手配や区役所へ連絡し、適切な対応をするよう取組みを行っている。
19 道路サポーター制度	現在、九州電力株式会社北九州支店と協働で、当社ビル周辺道路の清掃を週1回、当社社員、グループ会社社員で分担を決め、ボランティアとして活動を継続している。

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。